

【会議録（要点筆記）】

会 議 名	平成 29 年度 第 1 回 鹿屋市男女共同参画審議会
場 所	第 3 委員会室
日 時	平成 29 年 10 月 18 日（水） 13:30～15:00
出 席 者	<p>【委員】（委員 12 名、欠席 4 名） 敬称略 森克己、瀬戸雄作、大宮司由美子、内倉友美、鶴丸映子、前田浩志、齋藤鈴子、柿本和範、堀之内節子、加藤順子、松元和彦、永山美鈴</p> <p>【市】 四元市民生活部長、内倉市民課長、新西主査、的場男女共同参画推進室次長（事務局）</p>
会次第	1 開会 2 新規委員紹介 3 会長あいさつ 4 議事 (1) 男女共同参画に関する市民意識調査の結果について (2) 次期かのかや男女共同参画プランの策定について 5 閉会

【協議における主な意見等】

発言者	主な意見等
事務局	<p><議事> (1) 「男女共同参画に関する市民意識調査の結果について」</p> <p>【資料説明】</p>
会長（議長）	今回の意識調査の結果を見て、感想やご意見をいただきたい。
委員	男女の地位の平等感で「男性優遇」が「女性優遇」を大きく上回っているという結果や、家庭や仕事・地域などいろいろなところで女性に対して男性の気遣いが少ないと感じた。
委員	10 歳代・20 歳代の DV の被害経験について記載があるが、どの年代の方々が DV に遭われているか。
事務局	10 歳代・20 歳代に精神的な暴力を受けたと回答した人については、現 20 歳代の女性が一番多く 19.2%、次いで 30 歳代の女性で 17.3%となっている。他の年代は、10%に満たない。

委員	<p>「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についての問いで、前回と比べて「反対」という人が増えているがその理由を聞いているか。例えば、回答した人の家庭が働かないといけない経済状況のためとか働きたいという意思でそうなったのか等を確認したい。</p>
事務局	<p>今回、「反対」の理由については聞いていない。</p>
委員	<p>家庭における役割分担についての問いで、全体での結果が出ているが、年代別でも同じ結果となっているか。</p>
事務局	<p>項目ごとに年代別で紹介すると、食事の準備や掃除、洗濯については全ての年代で「主に妻」、食事の片付けについてはほとんどが「主に妻」となっているが、20歳代の男性が唯一「夫婦で分担」と回答した割合が高くなっている。育児も30歳代の女性、20歳代・40歳代の男性が「夫婦で分担」と回答した割合が高くなっている。</p>
委員	<p>10歳代・20歳代の若い世代もDVを受けているという結果がでていますが、市では、そういう世代の人たちへ何か取組を行っているのか。</p>
事務局	<p>若い世代に相手を思いやる気持ちや人権を尊重することなどを学んでもらうために、市内の中学校や高校で「人権・デートDV防止研修会」を実施している。また、チラシも作成し、学校を通じて生徒へ配布し周知を図っている。</p>
委員	<p>女性が職業をもつことについての意識の結果を見て、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ」という回答が市と県の結果と内閣府の結果が逆転していて、おもしろい結果だと思った。都会の方が働きやすいと思っているのか、地方は働きにくいのか、それとも昔ながらの意識の問題なのか。</p> <p>子どもができたら仕事をやめてまた仕事に復帰と考える人も多いことから、国の方でも女性の就労支援を行っている。</p>
会長（議長）	<p>今回の結果の詳細を記した報告書は、後日市のホームページに詳細が掲載されるので、ご覧いただきたい。</p>
	<p><議事> (2)「次期男女共同参画プランの策定について」</p>
事務局	<p>【資料説明】</p>

会長（議長）	市の取組内容や次期プランの策定に向けたスケジュールなどについて、質問や次期プランに盛り込んでほしい項目等ご意見をいただきたい。
委員	次期基本計画に女性活躍推進計画を新たに加えるとのことであるが、そのことについて再度教えてほしい。
事務局	「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の中で、「地方公共団体は国の基本方針等を勘案して、区域内における推進計画を策定すること」としている。この法律は、就業希望など働く場面における女性の思いを実現することを目的としており、各地方公共団体で計画の策定を促しているのは、その地域性にあった内容とするためである。
委員	今後やってくる2025年問題等を考えると介護職員の待遇をもっと良くすべきだと考える。
委員	労働条件や給与等は、事業所によって決めるものなので、何とも言えない。
事務局	2025年問題とは、今60歳代の団塊の世代の人たちが、ちょうど2025年に75歳を越え、超高齢化社会を迎えることをいう。今回のアンケートでも、高齢者介護について今後どのような対策が必要かについて、自由意見として介護職の給与の増額や労働条件の改善等を希望する声も多かった。
会長（議長）	現在の男女共同参画プランの中にも、「高齢者や障害者が安心して暮らせる支援体制の整備」とあるので、次期プランでも取り上げていただければと思う。
委員	女性活躍推進計画の話があったが、鹿屋市役所で女性の管理職はいるのか。
事務局	現在、市役所の女性管理職はいない状況である。
委員	女性の管理職について補足すると、管理職をお願いしてもすぐにできることではなく、経験や研修を経て長期的に進めていかねばならない。また、女性は子育てや家事に追われて、管理職になりたがらない人がいることも事実である。
委員	自社では、女性の管理職の登用や新規採用についても目標値を設定している。男性も女性もお互いにサポートしあうことが必要だと感じている。

委員	人権に関する電話相談で、高齢者や障害者等に対する暴力問題の相談があつたりするが、DVについてはなかったようである。
事務局	市でも、「配偶者暴力相談支援センター」というDVに関する相談窓口を設けているので、困った人を見かけたり相談を受けたら、ぜひ市役所に問い合わせをしてほしい。
会長（議長）	来年度にかけて、次期プランの策定についてご協力をいただきたい。